

新型コロナウイルス の影響について



新型コロナウイルス：
世界経済に大きな不確実性をもたらして
いるものの、いずれは解消

世界経済への影響は、3ヵ月から半年程度の一時的な影響とされるものから、経済成長をけん引するサービス業への重大な影響といったものまで想定されます。



SARS との比較は感染拡大の影響を
予測するのに不向き

2003年のSARS（重症急性呼吸器症候群）流行時には、金融市場はすぐに反発に転じましたが、当時の中国は急速な経済成長の初期段階にあったという状況を考慮する必要があります。経済環境は当時とは大きく異なっています。



緩和的スタンスの中央銀行

今後、実際に行われるかどうかは別として、利下げが市場に織り込まれる可能性が高まっています。



フランシス・ドナルド
チーフ・エコノミスト



スー・チン
シニア・マクロ・ストラテジスト

短期的には保守的な対応が理にかなっていると考えます。ただし、現在の混乱は戦略的な観点からは投資機会として捉えることができます。当チームでは、本年も株式市場は全体として上昇傾向を示すと予想しています。

マクロ・エコノミック・ストラテジー・チーム
マニュライフ・インベストメント・マネジメント

※マニユライフ・インベストメント・マネジメントは、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションにおける資産運用ビジネス部門の新しいグローバル・ブランドであり、従来のブランド名であるマニユライフ・アセット・マネジメントから変更しております。また、各国拠点の社名についても順次変更を行っております。

※マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社は、2020年4月1日付で社名をマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社に変更いたします。

[当資料に関する留意事項]

- 当資料は、情報提供を目的としてマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した参考資料であり、特定の有価証券等の取得勧誘や売買推奨を行うものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報に基づいておりますが、当社がその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の記載内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更される場合があります。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料の一部または全部について当社の事前許可なく転用・複製その他一切の行為を行うことを禁止させていただきます。
- 当資料に記載された見解・見通し・運用方針は作成時点における当社の見解等であり、将来の経済・市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第433号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会